

## (仮称) 高円寺学園の標準服の検討について

### 1 はじめに

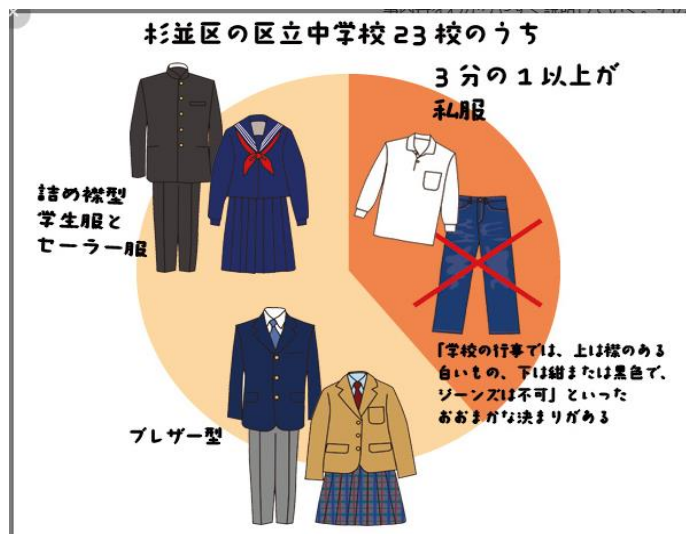
全国的にも広がりを見せている小中一貫教育校は、開校するにあたり児童・生徒の標準服を取り入れる学校が多く見受けられます。対外的に、一つの学校として統合したという事を地域にアピールできることと、児童・生徒自身に対して学校への所属意識と小中の一体感を高めることができることなどが主な導入の理由です。

このたび、(仮称) 高円寺学園においても標準服の導入の可否について、検討いたします。

### 2 現在の標準服

- ・ 杉四小・杉八小は、私服。高円寺中は、標準服（詰め襟型）を採用している。
- ・ 高円寺中の標準服（一式）の金額は、男子 30,900 円。女子 30,800 円。※ 参考資料 1
- ・ 杉並区立小学校は私服。区立中学校 23 校の内 14 校は標準服を採用している。

※ 高円寺・高南・阿佐ヶ谷・東田・松溪・中瀬・井草・荻窪・高井戸・松ノ木・大宮・泉南・和田・和泉



### 3 過去の事例

#### 【平成 27 年度に開校した杉並和泉学園】

- ・ 旧新泉小・旧和泉小に標準服はなく、和泉中は小中一貫教育校の開校前の平成 23 年度に私服から標準服（ブレザー型）に変更した。※参考資料 2
- ・ 標準服検討部会を設置し、中学部については和泉中の標準服を引き継ぐことを決めた。
- ・ 小学部の標準服採用について、3 校の保護者及び近隣幼稚園・保育園（4 園）の保護者に向けてアンケートを実施することにした。
- ・ アンケートの結果、約 6 割の保護者が「小学部については標準服を導入しなくてよい。」という結果となり、小学部は標準服の採用を見送った。
- ・ 就学前児童や低学年の保護者からは、小学部の標準服（フルセット・一部含む）導入を希望する回答も多かった。

#### 4 杉並和泉学園の標準服検討部会が出された意見（抜粋）

##### 中学部の標準服について

- ・小学部に標準服を導入するとなれば、デザインのバランスを考慮する必要がある。

##### 小学部の標準服について

- ・小中一貫教育校の一体感、規範意識や地域からの見守りなどが期待できる。
- ・小学生の活動を考えると汚れるのが気になる。
- ・成長期であるので買い換えが気になる。
- ・公立の小学校であるので、兄弟姉妹が多い家庭等についての経済的負担が気になる。
- ・高学年から標準服を導入すると、中学部に行く児童が増えるのではないか。
- ・フルセットではなく、ブレザーや帽子だけ等、部分的な導入も可能ではないか。

#### 5 他区の小中一貫教育校の事例

区	豊島区	品川区	渋谷区	練馬区
名称	豊島区立 池袋本町小学校 池袋中学校	品川区立 豊葉の杜学園	渋谷区立 渋谷本町学園	練馬区立 小中一貫教育校 大泉桜学園
施設	併設型	一体型	一体型	一体型
設立	平成26年	平成25年	平成24年	平成23年
小学部	私服	標準服	標準服	標準服
中学部	標準服	標準服	標準服	標準服

※参考資料3

#### 6 標準服導入の可否についての検討方法

- ・標準服検討部会（校長1名、副校長2名、懇談会委員7名）を設置し検討

1. 在校生及び区域内就学前施設の保護者に向けたアンケートの実施

2. アンケートの集計、まとめ ⇒ アンケート実施結果を懇談会へ報告し、意見交換

\*導入するとなった場合は、引き続き検討部会でデザイン案の検討、絞り込みを行う。